



一宮歩こう会 青春の東海道歩き

かわら版 5号



4階ホールで説明会

149名がマリエール一宮に集まり結団式

定刻は2時だが、早くも1時30分には集まり始める。1階の受付で名札と帽子をもらい4階の説明会場へ。マリエールの係員がエレベーターへ御案内するが階段で行く人もあり、さすが、頼もしい。

最初に総奉行・小塩敏之(一宮歩こう会会長)から、今日の結団式の目的は、企画を説明して協力をお願いをすることと、仲間づくりであると説明。

次に、ゲストのJR東海はじめての女性駅長として紹介された話題の堀田昌子尾張一宮駅長が登場。青春18きっぷを利用しての企画への謝意と完歩へのエールが贈られた。

そのあと、勘定奉行・鈴木範道と道中奉行・小川完二の説明があり、最後に今回の参加者のなかでは最年長78歳の竹内順一(一宮歩こう会副会長)がリードして全員で完歩に向けて檄を飛ばした。



「青春の東海道歩き」一宮で結団式

一宮歩こう会(小塩敏之会長)が企画した「青春の東海道歩き」の結団式が16日、一宮市中島通5丁目のマリエール一宮であった。写真。同会としては昨年から取り組んでいる富士山一周200キロと並ぶ大きな試み。27日に京都三条大橋から大津市瀬田まで歩くのを手始めに、3年がかりで旧東海道496キロの踏破を

めざす。市内外から参加希望者が相次ぎ、定員150人を超える173人まで受け付けて締め切る人気企画となった。参加者は46歳から78歳。男女ほぼ同数で60代が半数を占める。「夫婦の参加が25組もあるのに驚きました。交流を深めながら、頑張りましょう」。そろいの赤い帽子を受け取って結団式にのぞんだ参加者らに、小塩さんが呼びかけた。

2010. 3. 17 朝日新聞



説明会の最後は完歩を祈って檄